

多彩な造形美

40周年「紙上展」



※紙面で紹介した作品は、情報ポータルWebサイト「ふーぼ」でも見ることが出来ます。QRコードをご利用ください。

陶、漆、七宝など多彩なジャンルの造形作家でつくる現代工芸美術家協会福井会が発足40周年を迎えた。これを記念して6〜7月に県立美術館で開催予定だった第59回日本現代工芸美術展「福井展」(現代工芸美術家協会、同協会福井会、福井新聞社主催、三谷市民文化振興財団特別協賛)が新型コロナウイルス感染症拡大を受けて中止となったため、出品を予定していた福井会会員の作品27点を紙面で紹介する。

陶

「白い雨」

吉田豊一(越前町)

白い雨が自然や人の心を壊してゆく様。

1997年 現代工芸美術家協会本会員
2011年 日展会友
12年 日本現代工芸美術展審査員
17年 伝統的工芸品産業功労者近畿経済産業局長賞

「茜さす」 司辻健司(越前町)



茜色に染まる優しくたおやかな夕風が重なり、流れてゆく様を具現化した。

2004年 現代工芸美術家協会本会員
08年 日展会友
16年 日本現代工芸美術展審査員
18年 全国伝統的工芸品展経済産業大臣賞

陶

籐

「樹の精」

北川美千代(滋賀県)

樹の精が陽光を浴びて姿を現した! そんな神秘的な姿を籐で編み上げました。

2001年 現代工芸美術家協会本会員
10年 日展会友
17年 日本現代工芸美術展審査員



陶

「深想 —明日の向こうへ—」

富坂恵美子(越前市)

人生における大きな困難に出会っても、明日に未来に向かって立ち向かうという想いを表現しました。

2018年 現代工芸美術家協会本会員、県美展知事賞、日展初入選



染織

「美し国永遠にⅡ」

中西恵美子(福井市)

美しい自然豊かな越ノ国に生まれて幸せです。ふる里がいつまでも美しくあってほしいという思いを織りました。

2001年 現代工芸美術家協会本会員
06年 福井市文化奨励賞
11年 日展会友



七宝

「花によせて」

石黒政子(坂井市)

新型コロナが収束して生活の規制が解かれ、自由に自然を楽しむことができる日が早く来るよう願いを込めて。

1991年 日展初入選
2003年 現代工芸美術家協会本会員



陶

「大地のモニュメント」

塚崎勝規(鯖江市)

神の手で創られたアリゾナ州のモニュメントバレーがモチーフです。あの大自然の造形が青空にそびえ立つ姿に畏敬の念を払い、ブルーカラーにて表現をしてみました。

1995〜2017年 現代工芸美術家協会本会員
04.09年 日本現代工芸美術展審査員
10年 日展会友



漆

「翔風神羽」

富田忠志(鯖江市)

神の羽より吹く風。どの風に吹かれるかは己次第。自分自身を蝶に置き換え舞う姿を表現した。

2003年 現代工芸美術家協会本会員
10年 県文化奨励賞
20年 日展会友



陶

「灯火」

萩原博之(越前市)

世界中で流行している新型コロナウイルス。経済的にも精神的にも苦しい状況が続いている現在、一人一人の心に灯火をともし、早い復興を願う。

2007年 日展初入選
17年 現代工芸美術家協会本会員



陶

「凜」

黒坂昭代(福井市)

どんな時でも、どのように老いても、自分を見失わないで美しく生きる女性をイメージしました。

2015年 日本現代工芸美術展初入選



陶

「寄り添い」

佐々木福子(越前市)

反発してすねたり、甘えたり、お互い寄り添い、見守りながら日々成長していく親子の絆を形にしました。

2013年 日本現代工芸美術展初入選



陶

「瞼閉じればそこに」

下條途夫(鯖江市)

瞼を中心に眼をモチーフにして形を制作しました。半眼にすることで想いにふけっている様子が表現できればと思います。

2012年 日本現代工芸美術展初入選
16年 日展初入選



陶

「春北風」

日向豊(越前町)

春になってぶり返す寒さと吹く風をイメージし、暖かくなる季節を待ち望む心情を表現しました。

2013年 日本現代工芸美術展初入選
14年 日展初入選



陶

「生の途中」

山岸登美子(勝山市)

種から生まれて広がっていくとする植物の生きる途中のさまざまな動きやエネルギーを表現してみました。

2017年 県美展初入選
18年 日本現代工芸美術展初入選



七宝

「Beyond time and space」

山村倫代(大野市)

Wonderfulであり、Mysteryであり、Miracleな宇宙のことを考えて制作しました。

2013年 日本現代工芸美術展初入選、県美展知事賞
17年 県美展知事賞、日展初入選

